

疾風と共に長島路を駆け抜ける

第8回長島トライジョギング大会

10月27日、サンセット長島前をスタート、ゴールとする、第8回長島トライジョギング大会があり、1.5^{キロ}のファミリーコース、3^{キロ}、10^{キロ}の3つのコースに、町内外から約750人がエントリーしました。

開会式で浜健男実行委員長が「事故に気をつけて、ジョギングを楽しんで。長島路を満喫して、走って良かったと感じてほしい」とあいさつしました。

午前10時過ぎ、ファミリーコースの号砲を合図に、約300人の親子が1.5^{キロ}のコースを思い思いに楽しみました。中には、よちよち歩きの幼児も母親と一緒に参加し、周囲から「がんばれ」と声援を受けていました。

その後10^{キロ}、3^{キロ}のコースも次々とスタートし、起伏の激しい長島路に挑み、すがすがしい汗を流していました。

10^{キロ}コースで1位となった、熊本県水俣市から初めて参加した磯田章太さんは「蔵之元港で折り返してからの上り坂がきつかったが、1位でゴールできて良かった。ファミリーコースにも親子で参加できて楽しい一日だった」と喜びを話しました。



↑完走できるかな



↑海を横目に疾走、中には着ぐるみを着た選手も



↑一斉にスタートする選手ら(1.5^{キロ}コース)

長島町シルバースポーツ大会、福祉芸能大会

笑い声が元気の源

10月4日、町内の元気な高齢者が一堂に会し、長島町いきいきシルバースポーツ大会と長島町福祉芸能大会が長島町B&G体育館と文化ホールであり、約400人が参加しました。

この大会は健康の保持に努めるとともに、互いに親睦を深めることにより生きがいを見いだすことなどを目的としています。

午前のスポーツ大会では、テニスラケットの上にボールを乗せて15^分先のポールまで走って折り返す「スプリンレース」や、輪投げ、玉入れなど全8種目を、町内の10地区に分かれて競いました。

優勝は平尾チームで、7年連続となりました。同チームの宮瀬保さん(茅屋集落)は「チームは)スピードは衰えるが経験豊富な技をいかして優勝できた。とても嬉しい」と話しました。

午後からは、福祉芸能大会が行われ、カラオケ大会のほか、「長島ぐるっと一周花街道 酔いどれ芸能一座」による創作コントや芝居が披露され、会場内には拍手と笑い声が響き渡りました。



↑熱唱する芸能大会出演者



↑高さ4^{メートル}のカゴを狙う玉入れ



↑笑顔で競技を楽しむ参加者